

令和 6 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 6 年 5 月 20 日(月)18 時 30 分～20 時 15 分		
開催場所	和田まちづくりセンター	参加人数	9 人
出席議員	芦谷英夫、串崎利行、川上幾雄	補助員	村木勝也
テーマ別に 出た意見	【総務文教】 地域交通について～移動の自由をどうつくるか～ ・ 高速バス停を利用することが増えた 敬老福祉乗車券が利用できるようになったから 利用できることはベストヒットであった ・ デマンド等の利用が減った デマンドを利用することに違和感を持つ人が多い 対象者を選択した福祉バス制度を設けたらどうか ・ 特別なニーズを対象とした制度が欲しい 市外への通院等（域を超えた時の料金差）を対象に ・ スクールバスへ一般人の乗車を認めてほしい 乗車率、利便性の向上になる ・ 高速道路 4 車線化に向けて現状路線の整備が必要 工事用運搬車の通行増により民間交通へ影響を与える 高速道路通行止め時の迂回路として容量不足 議員⇒福祉バスを検討、特別なニーズ、スクールバスへの一般乗車については課題として受け止める。 現状路線の整備については執行部へ国県への要望を依頼。		
	【福祉環境】 市の環境施策や環境に配慮した市民活動のあり方について ・ 自治区制度は地域づくりに最適であったと思う 自治区長を廃止した協働のまちづくりの内容が不明 議会の自治区制度への理解不足が原因ではないか 議員⇒制度廃止後のまちづくりに理解を求める広報が必要		

	【産業建設】 地域産業の問題点と課題について ・ 旭の温泉業について 地域とのかかわりが無くなり県外ニーズだけだ ・ 地域公共事業が 1／5 程度になった 実情を確認してほしい ・ 地域ニーズに沿う施策を国県へ陳情してほしい 今市地域のバイパス、県道 50 号線八戸川沿いの拡幅 議員⇒地域公共事業については委員会で取組中。 地域ニーズに見合う施策陳情を執行部へ依頼する。
自由意見	【総務文教委員会】 ・ ふるさと基金の活用方法を明確に
	【福祉環境委員会】 ・ 瑞穂市木の病院（上田）への通院時スクールバス利用を 乗車料金の格差を邑南町との地域連携で平準化へ
	【産業建設委員会】 ・ 重富の古墳を再整備してほしい ・ 戸川自治会の公園を再整備してほしい 20 戸であるが 10 人の子どもがいる トイレが廃止され利用できない 川側にフェンスが無いのでボール遊びができない
	【議会として取り組むべき課題】 ・ 3 課題については記載のとおり。 ・ 自由意見については、乗車料金の平準化は調査すべき。 ・ 公園整備については執行部と意見交換し、子育ての環境整備として実施されるよう取り組む

令和 6 年 5 月 21 日 報告者 川上幾雄